

入試区分名	一般入試 (A)
-------	----------

科目	数 学
----	-----

大問	出題の意図
1	数学I・A・II・B・C(ベクトル)の範囲から幅広く出題している。特に整式, 2次関数, 図形, ベクトルに関して基礎的な考え方や計算力を問う。
2	数列の漸化式の理解と数列の和などの計算能力を問う。数列自体は対数関数や三角関数からなり, それらの理解や計算能力についても問われる。
3	二次関数, 三次関数に関する接線, 共有点, 領域など, 基礎的な概念を理解し, 計算により求めることができるかを問う。

入試区分名	一般入試（A）
-------	---------

科目	英 語
----	-----

大問	出題の意図
1	英語の長文読解問題。英語の文章に基づき、語彙、論理的思考力、構文把握力、英文読解力（内容理解）を測定することを意図した。
2	英語の長文読解問題。英語の文章に基づき、語彙、論理的思考力、構文把握力、英文読解力（内容理解）を測定することを意図した。
3	日常生活で話される会話文に基いた空所補充問題。会話の論理的展開の理解、ならびに口語表現知識の測定を意図した。
4	空所補充の設問を通じて、語彙力、正確な語法知識、文法知識、論理的文章理解力を測定した。
5	整序問題を通じて、正確な語法知識、慣用句の知識、構文知識を測定した。

入試区分名	一般入試 (A)
-------	----------

科目	理科 (生物)
----	---------

大問	出題の意図
1	細胞の構造やエネルギー利用、遺伝情報、タンパク質の働きについて、基本的な理解を問う。
2	本問題は、動物の胚発生に関する基礎概念を総合的に理解しているかを評価することを目的とする。また、ウニ・カエル・ショウジョウバエといった代表的モデル生物の比較を通じて、発生メカニズムの普遍性と多様性を論理的に整理できるかを問う。さらに、誘導実験や移植実験の結果から因果関係を推論する力を測定する。
3	進化と生態学に関する基本的な知識を問うとともに、図表の読解力と論理的思考力を問う。

入試区分名	一般入試 (A)
-------	----------

科目	理科 (化学)
----	---------

大問	出題の意図
4	気体の溶解を題材として、理論化学および無機化合物に関する基礎的知識と計算力を測定することを意図した。
5	亜鉛と鉛を題材として、無機化合物とその反応に関する基礎的知識と計算力を測定することを意図した。
6	さまざまな官能基を有する有機化合物を題材として、有機化学全般に関する基礎的知識を測定することを意図した。

入試区分名	一般入試（A）
-------	---------

科目	理科（物理）
----	--------

大問	出題の意図
7	バネに繋がれた物体の運動に関する基本的な理解を問う。
8	電荷と静電気力に関する基本的な理解を問う。
9	気体分子運動論の基本的な理解を問う。

入試区分名	一般入試 (B)
-------	----------

科目	数 学
----	-----

大問	出題の意図
1	数学I・A・II・B・C (ベクトル) の範囲から幅広く出題しており、特に、対数、確率、三角関数、1次関数に関して、基礎概念の理解や計算力を問う。
2	三次関数の微分、増減、極値、定積分を扱う数IIの問題である。それらに関して、基礎的な概念の理解や計算力、論理的思考力を問う。
3	円を利用した図形を利用し、円周率の近似値を求める問題である。図形と三角関数に関する基礎的な概念の理解や計算力、論理的思考力が問われる。

入試区分名	一般入試 (B)
-------	----------

科目	数学 III C
----	----------

大問	出題の意図
1	数IIIとC (ベクトルを除く) の範囲からの出題で、無限級数の和、関数の極限、複素数平面、回転体の体積、極方程式に関して、基礎的な概念の理解や計算力を問う。
2	パラメータを用いた関数に関して、その基本的な概念である接線や領域、面積を求める問題であり、基礎概念の理解や計算力、論理的思考力を問う。
3	数IIIの三角関数の積分の問題であり、三角関数とそれらの積分に関して、基礎的な概念の理解や計算力、論理的思考力も同時に問われる。

入試区分名	一般入試（B）
-------	---------

科目	国 語
----	-----

大問	出題の意図
1	大問1においては、大学入学後に科学的な文章を読み、自らが論理的な文章を書くことになることを前提として、それなりの長さのある科学的な文章に対して、1) 文章を論理的に読み解けているかどうか、2) 筆者の主張が正しく理解できているかどうか、という能力を問う問題を出題した。
2	大問2においても、大学入学後に科学的な文章を読み、自らが論理的な文章を書くことになることを前提として、それなりの長さのある科学的な文章に対して、1) 文章を論理的に読み解けているかどうか、2) 筆者の主張が正しく理解できているかどうか、という能力を問う問題を出題した。大問1が比較的平易な文章を読むことに対して、大問2ではやや難解かつ科学史的なボキャブラリーに富んだ文章を選択している。
3	大問3では、論理的な文章の把握に関する能力を問う問題を出題している。特に、提示した図や多肢選択の細かな差異を読み解いた上で解答できる力を問うている。広く科学的・論理的な文章に触れ、これらを正確かつ早く読み解く力を伸ばすことが望ましい。

入試区分名	一般入試（B）
-------	---------

科目	英 語
----	-----

大問	出題の意図
1	英語の長文読解問題。英語の文章に基づき、語彙、論理的思考力、構文把握力、英文読解力（内容理解）を測定することを意図した。
2	英語の長文読解問題。英語の文章に基づき、語彙、論理的思考力、構文把握力、英文読解力（内容理解）を測定することを意図した。また長文読解に基づいた英文作成の問題を通じて、思考力、英語表現力を測定した。
3	空所補充の設問を通じて、語彙力、正確な語法知識、文法知識、論理的な文章理解力を測定した。
4	整序問題を通じて、正確な語法知識、慣用句の知識、構文知識を測定した。

入試区分名	一般入試（B）
-------	---------

科目	理科（生物）
----	--------

大問	出題の意図
1	生物基礎および生物の内容から、「遺伝子とその働き」「細胞の特徴」「生体を構成する物質」を横断し、標準的な基本事項を理解しているかを問うことを出題の意図としました。また、遺伝子操作の基礎的手順の理解と、増殖曲線から遺伝子機能を推論する力を問う構成としました。
2	本問題は、肝臓の構造・機能、栄養素代謝、ATP 産生機構、血糖調節、腎臓の再吸収機構など、ヒトの恒常性維持に関する主要概念を体系的に理解しているかを評価する。基本的な知識から、図を読み解き、臓器間連関を論理的に推論する力や原尿量・尿中のグルコース濃度を導き出す力を問うことを出題の意図とした。
3	「生物の進化」および「生態と環境」の内容を中心に、基礎的知識および時間内での資料の読み取り能力を問う出題をしました。具体的な設問内容は、初期生命の誕生から多細胞生物の多様化といった生命史の知識、植物および生産構造に関する知識と資料読解、生物間相互採用に関する知識と表の読解能力、以上を問う構成となります。

入試区分名	一般入試 (B)
-------	----------

科目	理科 (化学)
----	---------

大問	出題の意図
4	気体とその混合物を題材として、理論化学に関する基礎的知識と計算力を測定することを意図した。
5	銅を題材として、無機化合物と化学反応に関する基礎的知識を測定することを意図した。
6	有機化合物を題材として、有機化学全般と化学反応に関する基礎的知識と計算力を測定することを意図した。

入試区分名	一般入試 (B)
-------	----------

科目	理科 (物理)
----	---------

大問	出題の意図
7	ばねに繋がれた物体の運動や物体同士の衝突に関する基本的な理解を問う。
8	電荷にはたらく静電気力やローレンツ力に関する基本的な理解を問う。
9	気体の状態変化や気体のする仕事に関する基本的な理解を問う。